



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月25日

上場会社名 株式会社ヤマナカ 上場取引所名
 コード番号 8190 URL http://www.super-yamanaka.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中野 義久
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)屋敷 昭二 (TEL)052-937-9310
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年3月21日～平成28年6月20日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	24,615	△1.6	216	△14.8	224	△17.0	103	△20.5
28年3月期第1四半期	25,021	1.0	254	1.6	270	0.4	130	5.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 114百万円(△73.7%) 28年3月期第1四半期 433百万円(19.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	5.38	—
28年3月期第1四半期	6.76	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	41,085	15,631	38.0
28年3月期	40,284	15,594	38.7

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 15,631百万円 28年3月期 15,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	4.00	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年3月21日～平成29年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,600	1.3	580	63.4	590	51.9	350	458.2	18.17
通期	101,350	1.0	1,380	11.3	1,400	7.7	850	23.4	44.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	20,425,218株	28年3月期	20,425,218株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	1,161,891株	28年3月期	1,161,841株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	19,263,345株	28年3月期1Q	19,263,566株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目及びその他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調で推移し、雇用・所得環境は改善傾向が見られるものの、中国や欧州など世界経済の減速懸念に加え、英国のEU離脱や金融市場では円高・株安基調へ流れが変わるなど、先行き不透明な状況にあります。

小売業界では、景気動向や社会保障制度など将来に対する不安から、消費者の節約志向は強まる傾向にあり、また、パート・アルバイトの採用難が顕著になるなど、大変厳しい経営環境が続いております。

こうしたなか当社グループは、中期3ヵ年計画に掲げる①当社の強みを最大限発揮、②店舗及び本部の生産性向上、③働き甲斐のある職場作りの3つを経営課題の軸として取り組んでおります。

販売政策では、ポイントカード「グラッチェカード」の会員増加に向けた施策を実行するとともに、販売データを活用し、店舗毎にお客様のニーズに合わせた品揃えの改善に取り組んでおります。

商品政策では、健康を切り口とした商品の品揃えを充実させるとともに、連結子会社サンデイリー株式会社と連携し、米飯類の拡充などデリカ部門の強化に取り組んでおります。

店舗政策では、既存店舗の活性化を図るため、平成28年4月に形原店（愛知県蒲郡市）の改装、5月にザ・チャレンジハウス味美を味美店（愛知県春日井市）へ業態変更、6月に二川店（愛知県豊橋市）の改装を実施いたしました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、レギュラー業態の「ヤマナカ・フランテ館」の既存店売上高は前年同期比100.1%となりましたが、高質業態の「フランテ」やエブリデー・ロー・プライス業態の「ザ・チャレンジハウス」の売上高が伸び悩み、全社の既存店売上高が前年同期比99.0%にとどまったことに加え、小田井店の建替え休業の影響もあり、売上高に営業収入を加えた営業収益は246億15百万円（前年同期比1.6%減）となりました。利益面では、販売費や設備費等の経費削減に努めたものの、営業総利益の減少分を補うことができず、営業利益は2億16百万円（前年同期比14.8%減）、経常利益は2億24百万円（前年同期比17.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

なお、当社グループは「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億1百万円増加し、410億85百万円となりました。これは主に現金及び預金が10億96百万円増加した一方、流動資産の「その他」に含まれる未収入金が2億27百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ7億64百万円増加し、254億54百万円となりました。これは主に未払費用が5億11百万円、買掛金が1億95百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ37百万円増加し、156億31百万円となりました。これは主に利益剰余金が26百万円増加したものであることによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想について、現時点においては、平成28年4月25日公表の予想数値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(連結財務諸表に関する会計基準等の適用)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,585	4,681
売掛金	1,139	1,111
商品及び製品	2,610	2,613
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	37	35
繰延税金資産	244	310
その他	1,687	1,439
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,303	10,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,707	8,631
土地	9,699	9,699
その他(純額)	1,233	1,375
有形固定資産合計	19,641	19,706
無形固定資産		
借地権	490	474
ソフトウェア	438	420
その他	29	29
無形固定資産合計	959	924
投資その他の資産		
投資有価証券	4,305	4,265
差入保証金	5,458	5,384
繰延税金資産	9	9
その他	616	607
貸倒引当金	△63	△62
投資その他の資産合計	10,326	10,203
固定資産合計	30,926	30,834
繰延資産	53	59
資産合計	40,284	41,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,616	5,812
短期借入金	1,510	1,295
1年内償還予定の社債	158	458
1年内返済予定の長期借入金	1,779	1,682
未払費用	1,162	1,673
未払法人税等	135	184
賞与引当金	307	112
ポイント引当金	134	135
資産除去債務	12	-
その他	1,524	1,810
流動負債合計	12,341	13,164
固定負債		
社債	3,144	3,195
長期借入金	4,727	4,733
リース債務	353	306
繰延税金負債	717	682
退職給付に係る負債	1,003	963
長期預り保証金	970	969
資産除去債務	1,323	1,329
その他	108	108
固定負債合計	12,348	12,289
負債合計	24,689	25,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220	4,220
資本剰余金	6,538	6,538
利益剰余金	5,178	5,204
自己株式	△1,889	△1,889
株主資本合計	14,047	14,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,809	1,818
退職給付に係る調整累計額	△262	△261
その他の包括利益累計額合計	1,546	1,557
純資産合計	15,594	15,631
負債純資産合計	40,284	41,085

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年6月20日)
売上高	23,738	23,344
売上原価	17,631	17,322
売上総利益	6,106	6,022
営業収入	1,282	1,270
営業総利益	7,389	7,293
販売費及び一般管理費	7,135	7,076
営業利益	254	216
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	14	15
持分法による投資利益	7	6
情報提供料収入	12	12
その他	19	16
営業外収益合計	59	55
営業外費用		
支払利息	34	26
その他	8	20
営業外費用合計	42	47
経常利益	270	224
特別利益		
固定資産売却益	5	-
特別利益合計	5	-
特別損失		
固定資産除却損	5	20
特別損失合計	5	20
税金等調整前四半期純利益	269	204
法人税、住民税及び事業税	69	155
法人税等調整額	74	△55
法人税等合計	143	100
四半期純利益	125	103
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	130	103

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月21日 至平成27年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年6月20日)
四半期純利益	125	103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	306	8
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	307	10
四半期包括利益	433	114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438	114
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年3月21日 至平成27年6月20日)及び当第1四半期連結累計期間
(自平成28年3月21日 至平成28年6月20日)

当社グループは、「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。